R5	かながれ	つ日体	未未	塾	資料	·① 実技	分野 体	育 指導	案の	書き	方 学	習指導要	領の領	域表記
•	・単元名の表記 (例)E 球技 ネット型 バレーボール から書く													
• 汝	付象 ○	〇中:	学校	0	○高領	等学校	・日時(省	略)・場	折(省	`略)	・使用器	界具(省略	・生徒	の実態
運動	かり特性				学習:	指導要領	(解説)の領	頂城表記	の下	の文	:			
1)	機能的特	护性			学型			運動 運動		1) た	<u>─</u> -宝蛯 1 オ			 . シ 妻く
2	② 効果的特性 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――													
3	③ 構造的特性													
単元	単元の目標 ※「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」													
(知	識及び打	技能)				学	習指導要	 領(解説)	の口	の 片	ー 中の文を	<u></u> 書く	一)※	語尾を
(思	考力、半	削断力	人表	現力	5等)-									~を身
			_					12 ()1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						付ける」
(学	(学びに向かう力、人間性等) ── 学習指導要領(解説)の□の中の文を書く													
1	L 単元の指導内容(例示の内容を全て扱う場合として、指導要領「解説」から記載、番号付け)													
						しエヽ』 載の指示ル								
					ブ技能			〈思考					びに向か	
	知識。			技能				表現力人			人間性〉			
							N == 112 N = 12 (A = 2 N)			学習指導要領(解説)				
于自汨守女限(所加) 于自汨守女限(所加) 1日 中女限(小小山)								刊示>に番号を付						
			〉 (亡者		_	支能の<例	の<例示>に番号を付 ける				ける			
2	2 単元計画(参考 高等学校 入学年次 E 球技 ゴール型 バレーボール)10 時間扱い													
<u> </u>	※日体大の指導案様式とは異なりますが、本時の内容、単元計画を記載するのに便利です。													
段階			<u> </u>		2	3	4	5	6		7	8	9	10…
はじ			オ			本即	寺の目標、	内容確認	忍、注	準備	運動は必	が記入っ	する	
なか	$\begin{array}{c c} & 20 \\ 30 \end{array}$		リ		基礎・基本練習 ミニゲー							ゲーム、	ゲーム	
40 エ														
おれ			ン	<u></u>	I I. Ala									
指導	拿計画、 「上点	1		r		と学.人は	1						1	
#12	内容	1 時	f间		寺間	3 時間	4 時間	5 時間	6 時	·间	7時間	8 時間	9 時間	10 時間
指導	知識			1			2	3	4					
計	技能	<u> </u>				① \		4				2	3	
画	思.判	1		<u> </u>		2 \	0 .		3		4	<i>(</i>)		⑤
	学.人	1		2			3	<u> </u>		J2.	3.0	4	رديان	1- m
[2]	L 171±1:				o			なか②			おわり 入れないように計画する			
B	设階		はじ	しめ	% 1 ¹²		- 本では マッ		4 /	Z 2-	i iq o	てみょい	、トスルー	11両十ヶ
		<u> </u>	はし			単位時間に	指導や評		ま、1	子々	-		いように	計画する
評	知識		はし	(1)				平価項目(子々	2つ以上 ③	入れなV ④		
評価	知識技能					単位時間に ①	①↓		4		3		\ように ②	3
評	知識	1				単位時間に					-			

R5 かながわ日体未来塾 資料① 実技分野 体育 指導案の書き方

単元(内容のまとまりごと)の評価規準 単元(内容のまとまりごと)の評価規準は「単元目標」の語尾を変えて記載してもよい __ 知識及び技能 🔊 _____ 思考力、判断力、表現力等 🔉 学びに向かう力、人間性等 観 点 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 単 ※指導要領解説の「知識及┃※導要領解説の「思考力、・ ┃※指導要領解説の「学びに向 び技能」の説明文(□の中) | 判断力、表現力」の説明文(□ | かう力、人間性」の説明文 元 の該当箇所の語尾を「知┃の中)の語尾を「~をしてい ┃(□の中)の語尾を「~をして の 識」は「~を理解してい┃る」にして記載してもよい 評 いる」にして記載してもよい る」にし、「技能」は「~ 価 ができる」として記載して 規 もよい 潍 ※体つくり運動は「知識及 び技能(運動)」の運動の評 価規準はない

学習活動(指導時間)に即した評価規準(指導内容の語尾を変えて評価規準としてもよい)

4 -	4 子首伯男(拍导時間)に即じた評価規準(拍导的谷の語尾を変えて評価規準としてもより)									
観	知識	・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に						
点	知識	技能		取り組む態度						
			思考・判断・表現・判断・表現・判断・表現の表別のの表別のののののののののののののののののののののののののののののの							
(2)										

(メモ)

この様式は、日体大方式とは単元計画(指導と評価の計画)の書き方が異なります。日体大方式への書き方は、指導計画と評価計画の横書きを縦書きにしたものです。